

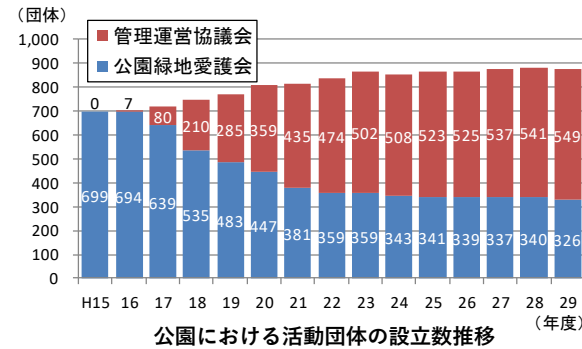
主な取組の実施状況（平成29年度）

基本方針1 協働により緑を守り育む持続可能な仕組みの構築

基本施策2 ボランティア活動の推進

概要 「地域の課題は地域で」の考え方を基本とし、公園の管理・活用を地域と協働で行う「管理運営協議会」の設立を推進します。

- 取組**
- ・8公園で管理運営協議会の協定を締結
 - ・管理運営協議会等の設立促進を図るため、町内会等への制度の周知を推進



基本施策3 緑のボランティアの育成の推進

概要 里山の自然環境や管理手法などのフィールド学習を通じ、里山ボランティアの育成を図ります。

- 取組**
- ・日本ロレアル株式会社との連携による「かわさき里山コラボ事業」において、久末イノ木特別緑地保全地区の保全管理計画の策定と、実践的な里山管理を実施



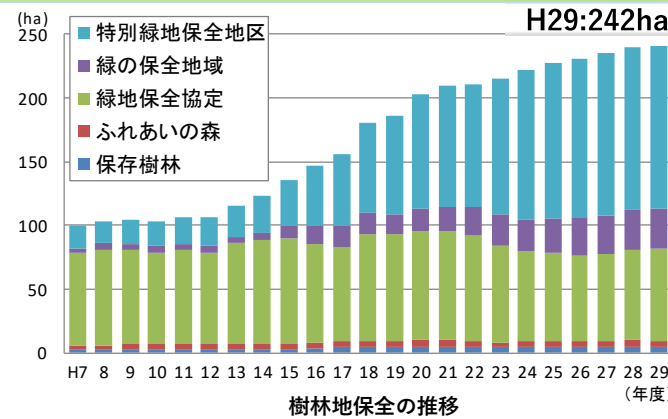
日本ロレアル株式会社との管理活動

基本方針2 地球環境に配慮したみどり軸の保全と創出

基本施策5 樹林地の保全

概要 樹林地の保全に関するさまざまな施策を活用しながら、多摩丘陵に残された貴重な樹林地等を次世代に継承します。

- 取組**
- ・地権者に保全の理解と協力を得られた樹林地について、特別緑地保全地区の指定（約0.2ha）と、緑地保全協定の締結（約1.1ha）を実施



新規指定した緑地保全協定地（麻生区栗木台2丁目）



橋特別緑地保全地区に設置した土砂止め防護柵

基本施策6 保全された緑地の適切な管理と持続的な取組

概要 公有地化した樹林地等の管理施設や斜面安定施設等の整備を推進します。

- 取組**
- ・橋特別緑地保全地区の土砂止め防護柵設置

基本施策36 「かわさき臨海のもりづくり」の促進

概要 臨海部に立地する事業所と行政が協働・連携し、地域の環境改善と景観の向上を図ります。

- 取組**
- ・環境や景観などの向上を踏まえて敷地内緑化を進める大同特殊鋼株式会社川崎テクノセンターを緑化優秀事業所として表彰



大同特殊鋼株式会社川崎テクノセンター

基本方針3 多様なみどり拠点による風格のある都市の形成

基本施策26 リフレッシュパーク事業の推進

概要 老朽化した近隣・地区公園を、市民ニーズに合った公園として再整備するための取組を推進します。

- 取組**
- ・夢見ヶ崎動物公園の整備や管理運営の方向性を定めた「夢見ヶ崎動物公園基本計画」を策定



夢見ヶ崎動物公園における動物ふれあい体験

基本施策29 公園緑地の活性化の推進

概要 公園の機能の充実と質の向上を図り、魅力的な公園づくりを推進します。

- 取組**
- ・生田緑地ばら苑における市民協働によるばらの育成。コンサート、ガイドツアー等の来苑者へのサービスを充実



ばら苑ボランティアの活動

基本方針4 緑と水のネットワークによる身近な緑とふれあう機会の創出

基本施策13 農地の保全と活用

概要 農との貴重なふれあいの場である都市農地について、生産緑地の指定拡大や、災害時の避難場所として活用できる市民防災農地の登録を促進します。

- 取組**
- ・生産緑地新規拡大：6か所、0.6ha（前年度14か所、1.1ha）
 - ・市民防災農地の新規登録：9か所、2.1ha（前年度11か所、1.2ha）



【写真上】生産緑地地区（高津区）

基本施策18 公共公益施設の緑化推進

概要 地域の事業者への緑化制度の普及、啓発を図るとともに、公共施設についても協働による地域緑化の促進に努めます。

- 取組**
- ・事業者による市未利用地の緑化（FUSO グリーンガーデン）

【写真右】市民防災農地を示す看板（平成29年度から設置開始）

基本施策27 公園緑地の維持管理の充実

概要 安全安心な公園づくりを目指して、公園施設のバリアフリー化や長寿命化を推進します。

- 取組**
- ・上麻生隠れ谷公園（麻生区）ほか1公園のバリアフリー整備
 - ・遊具点検及び44公園における遊具更新の実施



FUSO グリーンガーデン

基本方針5 かわさき緑の市民文化の育みと地球環境都市への飛躍

基本施策41 普及啓発活動の推進

概要 市民、事業者、NPOなどとの連携を図り、様々なイベントを通じた緑の普及啓発に努めます。

- 取組**
- ・夢見ヶ崎動物公園サポーター制度を周知するイベント「ゆめサポフェスタ」を実施し、23人、5団体のサポーター登録と、寄附を受入
 - ・生田緑地では多様な主体と連携したサマーミュージアムなどのイベントにより、地域活性化、ボランティア活動の情報発信等を推進



ゆめサポフェスタ

■平成29年度(2017年度)緑の実施計画実績報告

<概要>

- ・「50の基本施策」単位で項目を分けて取りまとめている。
- ・目標と実績は、主要な事業を抽出して整理している。

【緑の協働に関する施策】

	基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
				目標(抜粋)	実績(抜粋)	
1	緑のステークホルダーの参加の促進	○様々な主体の参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり講座、こども黄緑クラブの講座、各種イベント開催による参加促進 ・緑化センターにおける展示会開催(毎年10回以上) ・都市緑化に係る相談、指導、広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のボランティアセンターの運営支援 ・緑のボランティアセンターの機能の充実の検討 ・都市緑化に係る相談・指導及び広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧西部公園事務所の打合せスペース開始について広報を行い、計82名が利用 ・緑化センターにおける相談651件、講習会27回、展示会19回 	
2	緑のボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○管理運営協議会の設立促進 ○街路樹等愛護会の充実 ○緑の活動団体の登録推進と支援 ○かわさき緑レンジャーとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営協議会 累計523公園 ・街路樹愛護会 累計256団体 ・緑の活動団体 累計232団体 ・市民ボランティアや企業のCSRによる保全活動への立上初期の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営協議会等の設立促進 ・若い世代の管理運営協議会への参加促進や幅広い世代の公園利用に向けた取組の推進 ・緑の活動団体の登録推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営協議会 累計549公園 ・街路樹愛護会 累計1,209ブロック ・緑の活動団体 累計257団体 ・管理運営協議会等の未設置の公園緑地等の設立促進を図るため、団体の主な母体となる町内会等への制度の周知を推進 ・管理運営協議会・公園緑地愛護会合同連絡会で、若い世代の管理運営協議会等への参画等の事例を紹介 	
3	緑のボランティアの育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○緑化推進リーダーの育成 ○里山ボランティアの育成 ○かわさきガーデナーの活用 ○地域環境リーダー育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座開催による緑化推進リーダーとなる人材の育成 ・「緑の人材バンク」による修了生の活用 ・修了生が主催する交流の場(エコ・フェスタ)の開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座修了者の緑の人材バンクへの登録 ・修了者の更なる技術の向上 ・人材育成事業(「地域環境リーダー育成講座」)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり講座修了者:20名(うち7名を緑の人材バンクに登録) ・花壇ボランティア実践講座修了者:22名修了 ・里山ボランティア育成講座修了者:28名修了(うち7名を緑の人材バンクに登録) ・地域環境リーダー育成講座修了生:7名 ・かわさき里山コラボ事業として、日本ロレアル株式会社と協定を締結 	
4	緑のボランティアセンター機能の充実	○緑のボランティアセンター機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・団体に対する作業技術の講習や安全ベストの提供などの支援 ・各種講座の開催による人材育成の推進 ・花と緑の交流会の開催 ・緑の人材バンクの運用を通じた人材活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のボランティアセンターの運営支援、緑の人材バンクに登録された人材の活用や機能充実の取組 ・緑のボランティアの育成、活動支援、交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の講師などとして緑の人材バンクに登録された人材を活用(人材バンク登録者数H29年度:257名) ・緑の活動団体助成金の交付等による活動支援及び交流促進として活動団体の交流イベント(花壇編、里山編)を実施 	

【緑地保全に関する施策】

	基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
				目標(抜粋)	実績(抜粋)	
5	樹林地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○特別緑地保全地区の指定拡大 ○緑の保全地域の指定拡大 ○緑地保全協定の締結拡大 ○ふれあいの森(市民緑地)の保存契約の推進 ○緑地保全地域の指定検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別緑地保全地区等の指定 ・都市緑地法による市民緑地制度導入に向けた検討実施導入に向けた検討実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別緑地保全地区の指定拡大及び管理協定維持 ・緑地保全協定及びふれあいの森の締結推進 ・特別緑地保全地区等の用地取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別緑地保全地区の指定: 0.24ha(累計128.3ha) ・緑地保全協定地の新規指定及び協定締結: 1.1ha ・特別緑地保全地区の用地取得: 0.9ha 	
6	保全された緑地の適切な管理と持続的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○保全管理計画作成の推進 ○管理協定制度の活用 ○保全緑地における市民協働の推進 ○緑地保全に関する助成制度の充実 ○保全緑地の安全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山コラボ事業の制度を構築 ・大学との連携による研究、環境学習の支援 ・斜面緑地のアポイド調査実施 ・企業と保全管理活動の協定締結 ・保全管理計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全管理計画書の策定 ・保全緑地パトロールの実施 ・策定した保全管理計画書に基づき活動している活動団体の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全管理計画策定: 1地区(・久末イノ木特別緑地保全地区) ・保全緑地のパトロール(アポイド調査): 48箇所 ・活動団体では対処な困難な危険木伐採等の作業の実施による支援 	
7	地域に残された身近な緑の継承	<ul style="list-style-type: none"> ○保存樹木の指定 ○保存樹林の指定 ○まちの樹の指定 ○保存生垣の指定 ○保安林の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・保存樹木・樹林の協定更新 ・まちの樹の継承に向けた事業継続 ・保存生垣の管理 ・川崎市森林整備計画の樹立 	<ul style="list-style-type: none"> ・保存樹木・保存樹林・保存生垣の継承 ・まちの樹の継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・保存樹木の継承: 計864本 ・保存樹林の継承: 計35箇所・44,809㎡ ・保存生垣の継承: 計42箇所 ・まちの樹の継承: 計46本 	
8	様々な施策による緑地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○湧水地の保全 ○持続的な山林の保有を旨とした施策の組み合わせの推進 ○関係機関の連携 ○緑地保全制度説明会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・湧水地整備 ・湧水地調査(多摩川水系、鶴見川水系) ・「川崎市水環境保全計画」策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した湧水地の維持管理 ・緑地保全制度の周知活動 ・経済労働局、JAセレサ等農業関係機関との情報交換及び地権者への緑地保全施策の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した湧水地(8箇所9地点)の維持管理 ・緑地保全制度の地権者への個別説明実施 ・緑地保全制度のJA等農業関係者への個別説明実施 	
9	新たな緑地保全施策に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ○市民による緑地保全トラスト支援の検討 ○保全配慮地区における緑地保全指針の策定 ○事業者の意識高揚に向けた取組 ○企業参加による新たな保全緑地管理の検討 ○かわさき里地・里山ミュージアム構想の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と保全管理活動の協定締結 ・黒川海道特別緑地保全地区における保全管理の実施及びゾーニング図の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のCSR活動を取り入れた緑地保全活動の運用 ・黒川地区緑地保全活用基本計画の取組み推進、及び地元団体と連携した里山の植生管理の推進 ・岡上地区及び早野地区における市民・教育機関との協働による里山の植生管理の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区緑地保全活用基本計画の取組み実施、及び地元団体と連携した里山の植生管理の実施 ・岡上地区及び早野地区における市民・教育機関との協働による里山の植生管理の実施 	
10	開発事業等における緑地の保全と創出	<ul style="list-style-type: none"> ○自然的環境保全配慮への助言指導の充実 ○保全配慮地区内における開発行為における樹林地の保全・再生 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の検討と改正準備 ・他課と連携して継続指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的環境保全配慮書による助言・指導の推進 ・条例、指針に基づく助言・指導の着実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・助言・指導を実施 	
11	川崎ふるさとの小径(遊歩道)の設定	<ul style="list-style-type: none"> ○川崎ふるさとの小径(遊歩道)の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとの小径」コースの拡充 ・パンフレット作成による市民へのPR ・点検の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・道標や案内看板等によるコースの明示 ・保全した緑地を踏まえた新たなコースの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・道標や案内看板等によるコースの明示の実施 ・保全した緑地を踏まえた新たなコースの検討の実施 	
12	関係自治体との広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩・三浦丘陵自治体広域連携の推進と発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域トレイルの具現化 ・シンポジウム開催 ・ウォーキングラリー開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係13自治体による「多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議」の開催 ・広域連携トレイル構想の具体化 ・広域連携トレイル利用等に向けた動機付けの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議、ワーキング会議及び分科会開催: 計6回 ・ウォーキングラリー開催: 1回 ・保全活動イベントの開催 	

【農地の保全に関する施策】

	基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
				目標(抜粋)	実績(抜粋)	
13	農地の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○市街化区域内での農地の保全 ○市街化調整区域での農地の保全 ○環境保全型農業の普及と促進 ○体験型農園の普及 ○市民防災農地の登録の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産緑地地区の指定 ・農業振興地域整備計画の変更 ・早野地区の活性化に向けた検討 ・違反転用等防止対策検討会議の開催 ・現地普及指導 ・環境保全型農業の普及、市民への啓発 ・市開設型市民農園の維持 ・市民ファーム農園の開設 ・地域交流農園の新規開設 ・体験型農園の開設 ・防災農地の新規登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産緑地地区の指定推進 ・生産者向け講習会等の実施 ・市開設型市民農園の維持管理 ・体験型農園、市民ファーム農園の普及・運営支援 ・市民防災農地の登録推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産緑地新規追加指定:なし ・生産緑地新規拡大:6箇所、0.6ha ・生産者向け講習会の実施回数:142回 ・市開設型市民農園の維持:6箇所 (川崎市市民農園:5箇所、地域交流農園:1箇所) ・市民ファーム農園の開設:高津区に1農園 ・市民防災農地の登録:9箇所、0.3ha 	
14	農を知る機会と参加する仕組みの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○農に関するイベントの承継と充実 ○食農教育の推進 ○援農ボランティア等の農の担い手の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑の市民フェアと畜産まつりの同時開催による規模・内容の充実 ・「かわさき地産地消推進協議会」の運営 ・学校給食への食農教育と食材供給や料理教室、バスツアー等の開催 ・研修会等の開催による農業経営者の育成 ・認定農業者の確保 ・里山農業ボランティアの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑の市民フェアの開催 ・川崎市畜産まつりの開催 ・中学校給食実施に伴う市内産農産物の供給体制構築に向けた取組 ・ファーマーズクラブの開催 ・女性農業者(あかね会)の活動への支援 ・援農ボランティアの育成 ・里地里山用地の整備・管理、里地里山等利活用実践活動による人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑の市民フェアの開催 ・川崎市畜産まつりの開催 ・関係機関・関係局と協力し、市内産農産物供給に向けた準備及び調整 ・ファーマーズクラブの開催:2日 ・女性農業者(あかね会)の活動への支援:19回 ・援農ボランティアの育成:97人 ・里山農業ボランティア育成研修「みのり塾」の開催:48回 	

【緑化の推進に関する施策】

	基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
				目標(抜粋)	実績(抜粋)	
15	道路の緑化推進	○道路の緑化推進	・主要幹線道路等にける街路樹植栽整備 ・緑化を意識した道路施設整備	・街路樹の撤去及び更新 ・緑化を意識した道路施設整備の推進	・梶ヶ谷菅生線、鷺沼線(宮前区)、寺尾台22号線(多摩区)、白山1号線(麻生区)の街路樹の撤去及び更新	
16	街路樹の適正な管理の推進	○街路樹管理マニュアルによる適切な樹木管理とまちなみ景観向上 ○狭隘な幅員歩道における街路樹の再編	・街路樹やグリーンベルトの適切な維持管理 ・樹形管理及び交通障害対策 ・樹木診断及び更新整備	・各区役所道路公園センターとの管理手法等の協議・調整による適切な維持管理 ・街路樹の樹木診断及び樹木更新	・地域特性に即した持続的な維持管理を推進させるため、「街路樹管理計画」を策定 ・街路樹の樹木診断及び樹木更新を実施	
17	河川環境整備の推進	○水辺環境の保全・再生 ○水辺の維持管理活動の推進 ○水辺に親しむ機会づくり ○水質の改善	・平瀬川支川の河川改修 ・矢上川河川改修及び麻生川環境整備 ・渋川における周辺環境整備、生態系に配慮した水辺環境の保全 ・河川愛護ボランティア制度の活用 ・水生昆虫ふれあい教室 ・市民を対象とした水環境体験ツアー ・水辺の楽校 ・NPO等市民団体による環境学習	・平瀬川支川の改修 ・三沢川の改修 ・渋川環境整備の推進 ・河川維持管理計画の策定 ・「夏休み水環境体験教室」の開催 ・夏休み多摩川教室への出展	・平瀬川支川改修事業の推進(護岸改修工事) ・三沢川改修事業の推進(用地買収に向けた協議・調整) ・渋川環境整備の推進(にぎわいの水辺ゾーンの工事の推進) ・河川維持管理計画の策定 ・「夏休み水環境体験教室」の開催:2回 ・夏休み多摩川教室に「川の中の生きものコーナー」を出展	
18	公共公益施設の緑化推進	○庁舎等公共施設の緑化推進 ○公的住宅の緑化推進 ○学校の緑化推進 ○公益的施設の緑化推進	・公共公益施設における緑のカーテン事業の実施 ・法令等に基づく協議・指導 ・市営住宅建替 ・学校の屋上緑化、壁面緑化、校庭芝生化	・庁舎等公共施設の緑化推進 ・緑のカーテン事業の実施 ・法令等に基づく協議・指導 ・市営住宅の建替に併せた敷地内緑化の充実 ・学校の屋上緑化、壁面緑化、校庭芝生化	・事業者による公共用地の緑化(FUSOグリーンガーデン) ・公共施設の植樹:237本 ・緑のカーテン事業の実施:250施設 ・法令等に基づく協議・指導 ・市営住宅の建替:3団地4棟 ・学校緑化(壁面緑化:7校、校庭芝生化:1校)	
19	緑化推進重点地区(候補地)における緑化推進	○緑化推進重点地区の持続的な緑化推進 ○緑化推進重点地区計画の策定	・緑化推進重点地区リーディング事業実施(宮前平・鷺沼駅周辺地区、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区)	・花と緑のランドマーク(見所)事業の実施 ・緑化推進重点地区での緑の創出に向けた取り組みの推進	・多摩区長尾宮前公園ほかでランドマーク事業として、植栽工事を実施 ・緑化推進重点地区内において、公園緑地協会を通じた緑の活動団体による緑化の推進、区役所地域振興課による地元自治会等への花苗の種の提供等を実施	
20	多様な手法による緑化推進	○緑化指針による緑化指導と助言の推進 ○緑化地域の指定検討 ○緑地協定の締結推進 ○地区計画等による緑化推進 ○地域緑化推進地区認定の推進 ○公開空地の誘導	・法令等に基づく、協議・指導の実施 ・緑化地域制度の調査・検討及び制度構築に向けた調整、運営体制の検討 ・都市緑地法に基づく「緑地協定」制度の普及啓発 ・環境配慮のまちづくりの誘導制度案を作成 ・地区計画や建築協定などの計画策定支援 ・地域緑化推進地区の認定及び緑化活動の支援	・地域緑化推進地区指定制度の普及による市民の緑化活動の促進	・地域緑化推進地区認定:2地区(鷺沼町会、小川町町内会)	
21	緑化助成制度の普及と充実	○地域ぐるみの緑化運動促進に向けた各種緑化助成制度の普及 ○緑化助成制度の充実 ○川崎市緑化基金の効果的な活用	・屋上緑化・壁面緑化助成の実施 ・花と緑のまちづくり講座等の開催 ・緑の活動団体への助成実施 ・地域緑化推進地区の認定 ・川崎市緑化基金の運用	・市民の緑化活動に対する支援の実施 ・地域緑化推進地区指定制度の普及啓発による市民の緑化活動の促進	・屋上緑化、壁面緑化、思い出記念樹等各種緑化助成制度を利用した市民緑化活動の支援実施 ・緑の活動団体に対する支援実施 ・地域緑化推進地区(24地区)に年2回、花苗等緑化資機材を支援	
22	事業所緑化の促進	○事業所との緑化協定の締結促進 ○みどりの事業所推進協議会の加盟拡大 ○川崎市特定工場緑地整備基本方針に基づく緑地整備の推進	・みどりの事業所推進協議会への活動支援 ・協定未締結事業所と連絡調整、協定締結 ・「川崎市特定工場緑地整備基本方針」に基づく特定工場の緑化推進	・みどりの事業所推進協議会と連携した緑化推進事業への取組 ・協定未締結事業所との連絡調整による協定締結・協議会への加入促進 ・「川崎市特定工場緑地整備基本方針」に基づく効果的な緑地整備の推進	・協議会からの苗木の提供により、市民100万本植樹運動を促進 ・協議会への加盟事業所の増加はなし ・「川崎市特定工場緑地整備基本方針」に基づく緑地整備の推進	

【公園緑地の整備に関する施策】

基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
			目標(抜粋)	実績(抜粋)	
23 大規模公園緑地の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> ○総合公園の整備推進 (富士見公園、等々力緑地、生田緑地) ○緑地の整備推進 (菅生緑地) ○霊園の整備推進 (緑ヶ丘霊園、早野聖地公園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎富士見球場整備 ・「等々力緑地再編整備実施計画」に基づく再編整備 ・生田緑地マネジメント会議の設立 ・菅生緑地西地区の整備 ・緑ヶ丘霊園の園内整備と返還墓所の供給、新霊堂・無縁合葬墓の整備 ・早野聖地公園の新規墓所の整備と用地取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見公園「富士見公園再編整備基本計画」の策定 ・等々力緑地「陸上競技場次期整備計画」の策定、硬式野球場の事業推進 ・生田緑地「東生田2丁目地区の基本方針」の調査・検討、向ヶ丘遊園跡地の整備に向けた調整 ・菅生緑地 事業期間の延長と整備の検討 ・墓園「市営霊園基本計画」の策定、早野聖地公園の新規墓所整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見公園:民間活力の導入に向けて検討を行いつつ、「富士見公園再編整備基本計画」をH31年度に策定予定 ・等々力緑地:「陸上競技場次期整備計画」の策定、硬式野球場の整備推進 ・生田緑地:「東生田2丁目地区の基本方針」の調査・検討、向ヶ丘遊園跡地の整備に向けた調整 ・菅生緑地:事業期間の延長と整備の検討 ・墓園:公平で安定した墓所供給や墓所の循環利用促進に向け「市営霊園基本計画」の策定、早野聖地公園の新規墓所整備 	
24 身近な公園の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> ○歩いて行ける身近な公園の整備推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・大小公園整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・大小公園整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・西小田公園の整備 ・稲田公園の整備に向けた設計 	
25 多様な手法による公園緑地の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> ○特別緑地保全地区の都市林としての整備推進 ○開発行為等における公園緑地の整備推進 ○民有地等の活用による公園緑地の整備の検討 ○民間活力を活かした公園緑地整備の検討 ○都市計画公園・緑地のあり方の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等に基づく協議・指導 ・民有地等の活用による公園緑地の整備の検討 ・夢見ヶ崎公園、久地公園の都市計画見直し着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等に基づく協議・指導 ・都市計画変更素案の作成(夢見ヶ崎公園、久地公園、菅生緑地) 	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等に基づく協議・指導の実施 ・境界確定等の諸課題が解決に至らず、それぞれ都市計画変更素案の作成は未実施。これとは別に、古川公園の都市計画変更に向けた協議調整を実施 	
26 リフレッシュパーク事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○リフレッシュパーク事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・御幸公園の整備 ・小田公園の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢見ヶ崎動物公園基本計画」の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢見ヶ崎動物公園の整備や管理運営の方向性を定めた「夢見ヶ崎動物公園基本計画」の策定 	

【公園緑地の管理運営に関する施策】

基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
			目標(抜粋)	実績(抜粋)	
27 公園緑地の維持管理の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的な公園施設管理の仕組みづくり(アセットマネジメント) ○安心安全な公園緑地の管理 ○子育て環境づくりとしての公園緑地管理の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地の施設改修 ・管理運営協議会や公園愛護会の協働による遊具点検・施設点検 ・公園施設の長寿命化計画の検討 ・公園のバリアフリー化 ・施設の計画的な更新、補修 ・ネーミングライツ導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体や指定管理者との連携による維持管理 ・上麻生隠れ谷公園及び末長高之面公園のバリアフリー整備 ・計画的な遊具更新及び遊具点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体や指定管理者との連携により、市民の快適な利用に供する維持管理を実施 ・上麻生隠れ谷公園及び末長高之面公園のバリアフリー整備(園路広場ほか) ・遊具更新及び遊具点検の実施 	
28 多様な手法による公園緑地の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ○市民協働による公園・緑地の管理運営 ○民間活力等による管理運営の検討 ○大規模公園緑地パークマネジメントの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営協議会未設置公園の解消に向けた周辺町内会との調整 ・指定管理者制度の導入:生田緑地、霊園 ・生田緑地マネジメント会議の設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や合意形成による公園利用のしくみづくりの取組(社会実験の実施) ・指定管理者制度の検討及び適正管理に向けた調整 ・大規模公園緑地におけるパークマネジメント導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や合意形成による公園利用の仕組み(公園でのボール遊び)について社会実験を実施し、ガイドラインを作成 ・緑化センターの年度評価の実施 ・富士見公園南側(川崎富士見球技場他)の年度評価の実施 ・生田緑地の年度評価の実施、指定管理者の選定 ・等々力緑地への指定管理者制度導入以外の民間活力導入に関する方針を決定 	
29 公園緑地の活性化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○公園緑地の機能の回復 ○都市公園の農的活用の拡大 ○公園施設の有効活用 ○特色ある公園緑地の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい公園開催(橘公園、王禅寺ふるさと公園、菅生緑地) ・富士見公園コミュニティガーデンの管理・運営 ・プールの改修 ・生田緑地における指定管理者による管理運営開始 ・夢見ヶ崎公園における魅力向上の取組推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用活性化イベントの実施 ・富士見公園はぐくみの里における農的利用 ・生田緑地ばら苑のバラ管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・高津区、宮前区、麻生区の3区で公園利用活性化イベントとしてふれあい公園を実施 ・はぐくみの里では、地域のボランティア、道路公園センター、指定管理者が協働し農作物を育成 ・生田緑地ばら苑の市民協働によるバラ管理。入苑者数75,112人。ばら苑コンサート、地元中学生による演舞、講習会等、来苑者へのサービスを充実 	

【多摩川の保全・活用に関する施策】

基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
			目標(抜粋)	実績(抜粋)	
30 多摩川プランの推進	○多摩川プランの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川プラン推進会議の開催 ・運動施設や広場等の整備、維持管理 ・多摩川河川敷における桜等の植樹 ・国の堤防事業と連携したアクセス環境の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川プランの施策の進行管理 ・指定管理者によるバーベキュー広場の管理運営 ・上平間・古市場地区周辺の整備推進 ・国と連携した「川崎市かわまちづくり」計画に基づき、多摩川の堤防にあるスロープや階段等の改善に向けた協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川プラン推進会議を2回実施 ・指定管理者によるバーベキュー広場の管理運営 ・上平間・古市場地区周辺の上平間駐車場の整備 ・古市場サッカー場の再整備 ・市街地から堤防までの多摩川へのアクセス改善にむけて、スロープや階段、渡し場の設置などに向けた調整を実施 	
31 多摩川エコミュージアムプランの推進	○多摩川エコミュージアムプランの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ニヶ領せせらぎ館、大師河原水防センターの展示物の工夫、小中学生向け講座の開催 ・水辺の楽校3校合同による観察会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニヶ領せせらぎ館、大師河原水防センターの来館者数の増加に向けた取組の推進 ・学校の自主的な環境学習や関係機関等との連携に向けた取組や相互連携、スタッフの人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の魅力発信を目的としたシンポジウム、屋外イベントなどの開催 ・府中市、大田区との連携による「多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎」を開催 	
32 多摩川緑地の整備と維持管理の充実	○多摩川緑地の整備と維持管理の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・運動施設や広場等の整備、維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川緑地の草刈、清掃等の維持管理、公園施設の整備 ・多摩川サイクリングコースの延伸に向けた関係機関と協議・調整 ・マラソンコースなどの補修・改良工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川緑地の維持管理及び公園施設整備 ・サイクリングコース周辺の草刈 ・サイクリングコースの二子橋下流部分について、幅員の拡幅工事を実施 ・サイクリングコースの延伸に向けた国土交通省との協議実施 ・マラソンコースは、傷みの激しい橋梁下部分を補修 	
33 多摩川河口干潟の保全	○多摩川河川環境管理計画に沿った多摩川河口干潟の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・市と水辺の楽校等との協働による環境学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習発表会の開催 ・市民による小中学生に対する環境学習 ・環境学習活用資料の作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習発表会の開催支援 ・市民による小中学生に対する環境学習の推進 ・環境学習活用資料の作成・配布 ・環境学習推進スタッフの支援 	

【臨海部に関する施策】

	基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
				目標(抜粋)	実績(抜粋)	
34	川崎港千鳥町再整備計画に合わせた緑地空間の確保と充実	○ちどり公園の活性化 ○事業所との連携による緑地空間の創出と水際線の開放 ○緑化等の推進	・千鳥町再整備計画に基づく事業実施 ・老朽化した公共施設への対応 ・「千鳥町再整備計画推進会議」の定期開催(年2回)	・「川崎港千鳥町再整備計画」に基づく再整備等の推進 ・千鳥町公共ふ頭における倉庫の再配置・高度化の推進	・「川崎港千鳥町再整備計画」に基づく再整備等の推進 ・千鳥町公共ふ頭における倉庫の再配置・高度化の推進	
35	臨海都市拠点の土地利用再編機会を捉えた緑と水のまちなみ形成	○多摩川と一体となった景観形成を目指した川崎殿町・大師河原地域の緑化推進重点地区計画の策定 ○内奥運河沿いの水際空間とのつながりに配慮した浜川崎駅周辺地域緑化推進重点地区計画の策定	—	・川崎臨海地区緑化推進重点地区における緑化推進	・東扇島地区の沿道環境整備を実施	
36	「かわさき臨海のもりづくり」の促進	○事業所と連携した「かわさき臨海のもりづくり」の推進 ○事業所と連携した地区別緑化計画の策定による効果的な緑化地誘導	・「かわさき臨海のもりづくり緑化推進計画」策定 ・殿町夜光線及び周辺の景観整備実施 ・中長期事業の事業化に向けた調整	・かわさき臨海のもりづくり区域の取組の推進	・川崎臨海地区緑化推進重点地区における協働による緑化推進	
37	臨海部における緑のストックの活用	○臨海部緑道緑地等の環境整備 ○臨海部の街路樹の再編 ○開かれた臨海部を目指した産業ストックの活用	・塩浜小緑地、浮島2号線の整備、殿町夜光線及び周辺の景観整備の実施	・市民・事業者・行政による市民100万本植樹運動の推進	・みどりの事業所推進協議会に加盟している臨海部の各企業の緑化促進	
38	港湾緑地の整備推進	○港湾緑地の整備推進 ○港湾緑地の活性化	・みなと祭り開催 ・東扇島東公園におけるイベント開催 ・川崎マリエンのJOC認定競技特別強化センター登録 ・港湾緑地等の維持管理 ・東扇島東公園、西公園の「工場夜景」の絶景ビューポイント化	・各種メディアや広報物等を活用した川崎港のPR活動 ・イベントを通じた人々の交流やレクリエーションの場づくりの推進	・各種メディアや広報物等を活用した川崎港のPR活動 ・川崎みなと祭りやビーチバレーボール川崎市長杯の開催	
39	新たな緑地の創出	○浮島1期地区における緑地の創出	・川崎港港湾計画改定案の取りまとめ ・土地利用計画検討、本格利用に向けた基盤整備の概略検討実施	・「川崎港緑化基本計画」に基づく、市民等に親しまれる港湾緑地の整備等の推進	・国直轄工事の遅延に伴い臨港道路東扇島水江町線の供用開始時期が延伸されたため、これに合わせて整備する予定となっていた東扇島地区、水江町地区の緑地整備についてもスケジュールを見直し	

【緑の普及・啓発に関する施策】

	基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
				目標(抜粋)	実績(抜粋)	
40	環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型環境学習の場の確保 ○学校等における環境学習への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生物多様性かわさき戦略」策定 ・「川崎ふるさと生き物さがし」の実施及び川崎生き物マップシステム作成 ・水辺の楽校等との協働による環境学習 ・環境副読本の市内全小中学校への配布 ・幼稚園での幼児環境教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習発表会の開催 ・小、中学校向け教材「環境副読本」の作成・配布 ・夢見ヶ崎動物公園における環境学習の実施及び職業体験・インターンシップの受入れの実施 ・黒川地域における地元住民等との協働による体験型環境学習機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習発表会の開催支援 ・「環境副読本」の作成・配布 ・夢見ヶ崎動物公園における環境学習の実施及び職業体験・インターンシップの受入れの実施 ・黒川地区では、里山保全の体験イベントなど地元農業者と連携した取組を実施。岡上地区では和光大学や岡上小学校で環境学習を2回実施 	
41	普及啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○緑に関するイベントの充実等 ○事業所における地域環境活動への参画機会の確保 ○(財)川崎市公園緑地協会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民100万本植樹運動の推進 ・事業所緑化協定の締結 ・川崎市みどりの事業所推進協議会の加入促進 ・川崎市公園緑地協会の公益財団法人への移行 ・緑地管理機構の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑に関するイベントへの参加、支援 ・夢見ヶ崎動物公園サポーター制度の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・植樹祭の開催 ・夢見ヶ崎動物公園サポーター制度を周知するイベント等を実施。その結果、23人、5団体のサポーター登録と、1,394,000円(平成29年度末現在)の寄附を受入 ・生田緑地では多様な主体と連携したサマーミュージアムなどのイベントにより、地域活性化、ボランティア活動の情報発信等を推進 	
42	市民による緑化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○140万市民による植樹運動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民100万本植樹運動植樹祭開催 ・市民100万本植樹運動イメージキャラクター「モリオン」の積極的活用 ・「花の見所づくり」施工 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・行政のパートナーシップによる、市民100万本植樹運動の推進 ・公共施設緑化、市民活動支援等を通じた植樹の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・植樹本数：累計約87万2,000本 	
43	緑の地域リーダーの参画機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○人材育成と活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各講座修了者等を「緑の人材バンク」に登録、派遣する人材活用の新たなスキーム構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)川崎市公園緑地と連携した「人材バンク」活用の検討と推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクへの登録推進(登録者数199人) ・人材バンクに登録された人材の公園緑地協会の各講座・イベントへの派遣(技術指導、作業補助等) 	
44	緑の情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○緑のリーフレット等の充実 ○研究開発等のPRとその活用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民により良い普及啓発用冊子の選別、緑化イベント等における配布、活用 ・広報紙・情報誌の充実 ・緑のカーテン事業等の広報及び支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種冊子の充実 ・広報紙、情報誌の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地協会を通じた各種緑化助成制度のパンフレットの作成 ・公園緑地協会を通じた緑化の広報誌や情報誌の発行 ・Facebookによる情報発信 	
45	緑の取組に対する表彰等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○各種顕彰制度の充実 ○企業の環境配慮意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わがまち花と緑のコンクール」開催 ・企業による環境配慮意識向上に資する制度の検討、普及促進 ・川崎市建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)の届出規模拡大、的確な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わがまち花と緑のコンクール」による表彰 ・建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わがまち花と緑のコンクール」実施(応募数113件) ・建築物環境配慮制度の新規届出：63件 	

46	緑の交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動の交流拠点の確保 ○環境総合研究所の設立 ○緑のフォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化センターにおける緑化相談、市民向けのイベント等の開催 ・環境総合研究所開設(平成25年2月) ・市民主導による花と緑の交流会 ・緑の活動団体交流サロンの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流イベントの実施 ・オープンラボ、出前教室、多摩川教室、環境セミナー、環境科学教室等の環境学習講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流事業(花壇編、里山編)を実施(計467人参加) ・わがまち花と緑のコンクールを実行委員会で企画、実施 ・オープンラボ、出前教室、多摩川教室、環境セミナー、環境科学教室等の環境学習講座の実施
47	緑のストックのPRと活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○観光資源としての緑のストックの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のストックの活用の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑に関する情報集の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり公園 ～緑政事業概要～」、「川崎の公園」、「川崎市公園・緑地等位置図」の作成
48	緑の調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な自然的環境資源の調査の実施 ○緑の保全及び緑化の推進に関する施策の調査・研究・企画立案 ○市民協働による動植物分布調査の実施 ○(仮称)動植物生息地保全指針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的環境の分布の更新 ・公園緑地行政の共通課題についての調査・研究 ・「生物多様性かわさき戦略」策定 ・「川崎ふるさと生き物さがし」の実施及び川崎生き物マップシステム作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性かわさき戦略に基づく事業の推進 ・「かわさき生き物マップ」の運用 ・自治体間連携による公園緑地行政の調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性かわさき戦略に基づく事業の推進 ・「かわさき生き物マップ」の運用 ・公園緑地行政の共通課題についての共同調査に参加し、調査・研究を推進
49	緑のリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模公園における緑のゼロエミッションへの取組 ○公園緑地整備等における資源活用の推進 ○緑のリサイクルに向けた関連企業との研究 ○市民活動による緑のリサイクルの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模公園における植物発生材の有効活用 ・公園整備における再生材などの活用 ・新たな緑のリサイクルの可能性に関する関連企業との連携調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理等による発生材の有効活用の検討及び普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活動で発生する竹葉の動物園飼育動物の餌として活用の試行

【緑の景観形成に関する施策】

	基本施策	主な取り組み	第2期実施計画(2011～2013年度) 3カ年の総括	2017年度		備考
				目標(抜粋)	実績(抜粋)	
50	景観計画と連携した緑の施策推進	<ul style="list-style-type: none"> ○景観計画と連携した緑の施策推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく景観計画特定地区の指定 ・都市景観形成地区の指定 ・「多摩川景観形成ガイドライン」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市景観形成地区」における市民による地域特性に応じた良好な街なみづくりの支援・促進 ・景観施策の情報提供・啓発活動の実施 ・「川崎市景観計画」の改定に向けた調査検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市景観形成地区」における市民による地域特性に応じた良好な街なみづくりの支援・促進 ・景観まちづくり意識普及イベントの実施 ・景観形成基準、景観重要樹木及び屋外広告物等に係る調査検討 	

■緑の施策目標達成状況(行政が主体的に取り組む緑のインフラの保全と創出)

【概要】
 ・緑地保全については、特別緑地保全地区(1地区)の拡大や緑地保全協定の締結により増加
 ・農地保全については、生産緑地の新規指定を行ったものの、指定解除が上回り、前年度から減少
 ・公園緑地等の整備については、街区公園や都市林の設置により増加
 ・緑化地の創出については、事業者による公共用地の緑化等により増加

(単位:ha)

緑のインフラの保全と創出に関する施策	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成29年度目標値
緑地保全 (特別緑地保全地区等)	182	188	204	211	212	218	223	229	232	236	241	242	272
農地保全 (生産緑地、農業振興地域農用地等)	413	409	408	405	401	399	397	388	384	381	368	365	416
公園緑地等の整備 (都市公園、港湾緑地等)	671	681	708	716	741	754	756	766	768	776	776	782	769
緑化地の創出 (公共施設緑化、街路樹等)	354	355	355	356	357	357	357	357	357	357	357	360	358
合計	1,620	1,633	1,675	1,689	1,715	1,728	1,733	1,740	1,741	1,750	1,742	1,749	1,815

